《雷門地区町会連合会》

日時:11月14日(月) 午前10時から(会場:浅草公会堂)

◇商業地域の活性化について

質問	回答	対応
最近、区内の商店街では、シャッターを	区では、各種調査や計画の策定、イベント	
閉めた状態の店舗等が非常に多く見受け	の実施、マップの作成など、商店街の活性化	
られます。	を図る取り組みを支援しています。	
台東区としては、このような状況につ	イベントの実施については、「商店街振興	
いて、今後、商店街の活性化を含め、どの	事業」を活用し、商店街における賑わいの創	
ような取り組みを考えているのかご意見	出と集客を図っています。	
を伺いたいです。	近隣型商店街に対して、商店街活動や施策	
	に精通したアドバイザーと連携し、それぞれ	
	の商店街の実情に応じたアドバイスや支援	
	事業の活用をサポートしています。そのほか	
	にも、商店街の個店が持つ自慢の逸品・サー	
	ビスの情報誌「にこまる」を発行し、近隣型	
	商店街の紹介と情報発信を行っています。	
	そして、毎年、商店街の空き店舗を活用し	
	ている事業者の賃料の一部を助成する「商店	
	街空き店舗活用支援事業」のほか、区内の空	
	き物件等で新店舗を開設する際、改修費等の	
	一部を助成する「アトリエ・店舗出店支援事	
	業」を通じて、事業活動への空き物件の活用	
	を支援しています。	
	今後も商店街の実情を把握しながら、意欲	
	的な取り組みを支援してまいります。	

◇新築マンションにおける町会加入について

質問	回答	対応
新築マンションについて、建築許可の	区では、「集合住宅の建築及び管理に関す	
申請の際、区の指導により地元の町会と	る条例」により、事業者は町会加入に関して	
話し合い、町会に加入する約束をしてい	必要な協力を行うことを努力義務としてい	
たはずだと思いますが、いざマンション	ます。しかし、町会は任意団体ということも	
が完成すると、オーナーや建物の用途等	あり、町会加入の確約を求めることまでは、	
が変わるなどして町会に加入できないと	法的に難しいのが現状です。	
の返事をもらうことがありました。	建設開始から終了まで、事業者と協議が進	
現在も、当町会内では建設中のマンシ	んでいたのに、その後、一棟売り等により、	
ョンが何棟かあります。町会としては、施	町会との事前協議内容が引き継がれない例	
工後スムーズに町会に加入いただけるよ	があることは区でも認識しています。	
う、建物完成前に話し合いの場を持ちた	そこで区では、所有者変更が想定される場	
いと思っています。また、話し合いの中	合、次のオーナーに対して必ず引継ぎを行っ	
で、町会未加入の場合のデメリットにつ	ていただくよう、事業者に対して案内をして	0
いて区側から説明いただければと思うの	いるところです。	
ですが、今後、町会として具体的にどのよ	事業者との協議においてお困りのことが	
うに対応していけば良いのか、区から指	ありましたら、担当の区民課へご相談いただ	
導・助言いただければと思います。	ければと思います。	
それと同時に、区からも、建設中の施工	今後、事前協議において町会と事業者の間	
主に対して、地元町会と話し合いの場を	で覚書を締結し、「所有者変更の際は協議内	
持つようご指導いただければ、大きな力	容を引き継ぐ」旨を盛り込むことを検討して	
になると思いますので、よろしくお願い	まいります。	
します。	引き続き事業者からの申請の際は、町会の	
	重要性について丁寧に説明し、条例に基づく	
	事前協議に努めるよう案内をしてまいりま	
	す。	

◇住民・観光客の避難場所について

質問	回答	対応
首都直下型地震や南海トラフ地震等、	区では、避難想定者数を基に、施設の面積	
巨大地震が発生した場合、台東区では、隅	や距離、地区などを考慮し、町会ごとに避難	
田川の逆流や地盤の液状化など、大きな	所を指定しています。	
被害が予想されます。	災害時に備え、水や食料等を備蓄するとと	
台東区としては、巨大地震が発生した	もに、避難所運営委員会において避難所運営	
場合に、住民の避難場所について、どのよ	キットを活用した訓練を支援するなど、地域	
うに考え、準備されているか伺います。あ	の防災力向上に努めているところです。	
わせて、浅草に観光で訪れている観光客	次に、観光客等の帰宅困難者対策ですが、	
の避難場所についてもどのように考えて	東京都の首都直下地震による被害想定では、	
いるか伺います。	区内で最大約11万人の帰宅困難者が発生す	
	ると想定されています。	
	浅草地区においては、浅草文化観光セン	
	ターや浅草公会堂などを一時滞在候補施設	0
	に指定しており、帰宅困難者の受入れを行い	
	ます。	
	また、浅草観光連盟をはじめ、地域が一体	
	となって実施する「浅草地域帰宅困難者対応	
	訓練」において、観光客の一時滞在施設への	
	避難誘導や、外国人向けに多言語通訳で災害	
	情報等を発信するなどの実践的な訓練を通	
	じて、帰宅困難者対策の意識の啓発を図って	
	います。	
	今後も町会の皆様や関係機関と連携をと	
	り、訓練を行うなど、防災意識の向上を図っ	
	てまいります。	

◇町会活動への協力について

質問	回答	対応
最近、当町会内に外国人の所有する物	区では、町会加入について重要な課題であ	
件が増えていて、町会活動への協力、特に	ると認識しています。	
町会費の求めに対して、なかなか協力を	町会活動への協力を得るためには、地域に	
得られません。	おける町会の役割を知ってもらい、活動につ	
台東区として、何か効果のある規制な	いて理解してもらうことが必要であると考	
ど、対応していただけないものでしょう	えます。町会の役割や活動を知ってもらうた	
か。	めには、町会PRチラシや広報紙の作成、イベ	
	ント時のアピールなど、町会に興味を持って	
	もらえるような取り組みが効果的です。	
	区では、町会役員等の皆様からいただいた	
	「町会活動に関する意識調査」のアンケート	
	結果を基に、昨年度から町会が抱える課題や	
	悩みに対して解決に向けたアドバイスをす	
	る「アドバイザー派遣事業」を実施し、町会	
	のPRチラシや広報紙、イベントの工夫などの	
	支援を行っています。外国語対応なども助言	
	をさせていただいています。	
	また、「地域で暮らす外国人とのコミュニ	
	ケーションブック」も発行しており、今年度	
	の改訂で「やさしい日本語」での町会案内の	
	チラシの作成方法についても掲載する予定	
	です。	
	今後も引き続き、町会加入促進に努めてま	
	いります。	

◇公園について

当町会内では、子供たちが近所で安心 してのびのびと体を動かして遊ぶことの	理力 八国中でとしいてギールなどわて欧	
してのびのびと体を動かして遊ぶことの	現在、公園内でキャッチボールをされる際	
	は、公園を利用されている他の方の安全確保	
できる遊び場がありません。公園内で、せ	のため、天井にもネットが張られているス	
めてキャッチボール等できるよう許可し	ポーツコーナーをご利用いただいています。	
てほしいです。	このボール遊びができるスポーツコーナー	
また、松葉公園には灰皿のついたコン	は、花川戸公園や山伏公園をはじめとする7	
クリート製のベンチがありますが、たば	つの公園に設置されています。	
こを推奨しているような印象を受けるの	区内には面積の小さな公園が多いため、日	
で、善処していただけないでしょうか。	常的に利用される広場や遊具等を整備しま	
	すと、ボール遊びができる場所の確保が難し	
	くなります。しかし、他の地域についても、	
	ボール遊びができる場所を望む声が寄せら	
	れていますので、公園の面積や利用状況、区	
	内の配置バランスを考慮しながら、導入を検	
	討してまいります。	$\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$
	松葉公園については、地域の方々から「灰	
	皿がないと至るところに吸い殻が散乱して	
	しまうので、撤去しないでほしい」とのご意	
	見をいただいた経緯がありますので、再度、	
	確認させていただきます。	
	子供たちが安全に楽しく遊ぶことができ、	
	利用する皆様が快適に過ごせるような公園	
	づくりを進めてまいります。	
	確認し、前回同様「残してほしい」と回答	
	を受けました。引き続き、喫煙マナー等に	
	ついて丁寧に周知してまいります。(公園	
	課)	

◇防災無線について

質問	回答	対応
防災無線があまり聞こえません。	防災行政無線は、区内全域に音声が届くよ	
スマートフォンを利用した区の防災ア	うにスピーカーを設置しているところです	
プリがあることは知っていますが、住民	が、周辺の建物状況や住環境、気象状況によ	
の中には、アプリがあることを知らない	り一部聞き取りづらい場合があります。	
人もいるので、もっと周知してほしいで	今後も放送音量やスピーカー方向の調整	
す。	のほか、聞き取りづらい地域にスピーカーの	
	増設を検討する等、引き続き改善に向けて取	
	り組んでまいります。	
	また防災アプリは、防災行政無線の放送内	
	容をはじめとする災害時の避難情報等を確	0
	認できるほか、普段の防災学習でも活用でき	
	る機能を有しています。	
	現在は、広報たいとうや区公式SNS等での	
	周知に加えて、転入手続きの際に案内チラシ	
	を配付する等周知を拡大しているところで	
	す。	
	今後も防災出前講座や講習会などの機会	
	を捉えて、防災アプリの普及に努めてまいり	
	ます。	